

「住み慣れた地域で、ともに支え合い、生きがいを持ち、健康で安心して生活できる社会」の実現を目指して



現代の地域社会では、少子高齢化、人口の減少、更には核家族化など要因となり、孤立しがちな高齢者や障害者、そして、子育てに不安を抱える親等が増えている現状から、このような方々を地域で支えていただく必要があります。

また、一昨年発生した、東日本大震災、長野県北部地震等の極めて大きな災害も想定し、災害時には、身近な市民相互による支援の仕組みが必要になっており、住民支え合いの体制づくりが急務となっています。

上田市では、これまでの5年間、第一次地域福祉計画に基づき、地域住民すべてで支え合う福祉の仕組みづくりに向け、社会福祉協議会をはじめとして、関係機関・団体と連携協働して、各種施策に取り組んでまいりました。その結果として、個々の事業では、災害時等要援護者登録制度の普及と住民支え合いマップの作成、地域福祉推進フォーラム・リーダー養成講座の開催、ご用聞きサービスの実施、成年後見支援センターの設置など、その成果が出はじめております。

現在の計画が平成24年度をもって終了しますので、今後も引き続き、市民だれもが個人としての尊厳を持ち、家庭や地域の中で、安全で安心して暮らせる地域社会を目指し、更なる地域福祉を推進するため「第二次上田市地域福祉計画」を策定いたしました。

地域福祉計画の策定に当たっては、地域福祉計画策定委員の皆様をはじめ、関係機関・団体、市民など多くの皆様からご意見をいただきながら策定作業を進めてまいりました。

今後は、この「第二次上田市地域福祉計画」が地域福祉推進の基本となる計画として、かつてはあった「向こう三軒両隣」とのつきあいなど、人と人とのつながり、心の絆が大切にされる上田市となるよう、地域住民の皆さんと常に連携協働し、今まで以上に、より積極的に地域福祉を推進してまいります。

最後に、本計画を策定するに当たり、策定委員会をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました関係機関・団体、多くの市民の皆様へ、心から感謝を申し上げます。

平成25年3月

上田市長 母袋 創一